

先日、地区の有志で研修を兼ねた旅をし

て、長野県と群馬県にまたがる浅間山と、

白根山方面を訪ねた。天明3(1783)

年の浅間山の活動は4月に始まって、7月

に大爆発したという。大量の火砕流が猛ス

ピードで山腹を下り、あつという間に鎌原

村(現・嬭恋村)を直撃、住民の8割以上

が亡くなったそう

だ。その悲惨さを

伝える場所が残っ

ているとのことだ。訪れた。

嬭恋郷土博物館の脇にある観音堂

へ上る石段が当時を物語っていた。

50ほどあった石段が15ほどしか地表

にない。あとは埋もれてしまったと

いう。発掘調査の結果、石段の下部

から2体の人骨が見つかり、深さは

約6メートル達したとのことだった。ま

さにイタリヤのポンペイ遺跡と同じ

ような惨事が起きたことになる。そ

して、最後に噴出した溶岩が固まって「鬼

押し出し」になったそう。現在、浅間山

と白根山は警戒態勢が強化され、白根山の

火口湖を見ることはできなかった。

御嶽山が突然噴火してから10年になる。

今年1月には能登半島地震があった。8月

には宮崎県沖で強い地震が発生した。焼岳

も警戒態勢に入っ

ている。火山が多

い日本は地震など

自然災害の怖さ知る

自然災害がいつ起きてもおかしくな

い。そう考えると、ここ松本盆地は

大丈夫なのかと心配になる。「備え

あれば憂いなし」と言われるけれ

ど、改めて、自然災害の怖さを知っ

て常に注意すること、食料などを備

えておくことが大切であると学んだ

旅であった。

(安曇野市穂高、荻原義重、80歳)

点差

こうさてん